

# 新須磨 ニュース

新須磨病院広報誌  
2021 April 創刊号

## 特集 新須磨病院 61年のあゆみ

理事長メッセージ  
慈恵会グループ紹介

慈恵会グループ広報誌へのご意見・ご要望はこちらへ

新須磨病院

〒654-0048 神戸市須磨区衣掛町3丁目1-14  
TEL 078-735-0001 / FAX 078-735-5685  
URL <https://www.jikeikai-group.or.jp/>

地域医療  
相談センター

TEL(直通) 078-735-0665  
FAX 078-735-0089  
E-mail [ccac@jikeikai-group.or.jp](mailto:ccac@jikeikai-group.or.jp)



HPはコチラ



# 『シームレスな地域連携医療を目指して』

## 震災を機に経営・医療を改善

慈恵会グループの中核を担う新須磨病院は、1960年に開設いたしました。当時は地域に根差した「まちの病院」でしたが、私の父である先代の意向もあり、先進的な医療に着手。当時ではおそらく神戸初となるMRIの導入や、西日本で初めてとなるガンマナイフ治療など、小回りが利く民間病院ならではの利点を活かし、様々な最新医療を導入しました。「高度な医療提供」と「地域密着」の両面を満す病院として、南須磨地区を中心に親しんでいただいています。

そんな当院の大きな転機となったのが、1995年の阪神・淡路大震災。震災によって、病院も組織もひどく痛んでしまいました。その時、安定した病院運営をしていくためには、「家業ではなく企業を目指さなければいけない」と決意。震災直後に新須磨病院の院長に就くと、最新医療だけでなく、医師・医療スタッフをはじめとした職員の充実にも力を注ぎました。2003年には、日本初となる創傷治療法を確立。アメリカでの成功例に倣ったこの治療を実現するためには、外科の知識やノウハウだけでは不可能でした。そこで、各専門家が知恵と技術を結集。一般・血管・形成外科、糖尿病科、検査技師、さらには靴屋さんに至るまで協働し、創傷治療を実現したのです。最新設備だけに頼らない医療の本質――。

それはまさしく、医療の理想形とも言える「真のチーム医療」でした。そして2003年、全国に先駆けて創傷治療センターを設立しました。

澤田 勝寛  
新須磨法人社団 慈恵会  
新須磨病院 理事長・院長

## 少子高齢化時代に果たすべき役割

阪神・淡路大震災の経験から、リスクマネジメントも大切にしていることの一つです。危機管理の第一人者である故・佐々淳行さんから学ばせていただいたこともあり、震災以降の災害等を何とか乗り切ることができました。しかし、新型コロナウイルスの蔓延だけは勝手が違いました。どんなウイルスか分からない



恐怖、終わりが見えない恐怖も感じました。見えない敵との闘いは、精神的に辛いものがあります。感染症対策によって様々な制約を設けなければなりません、今はやむを得ない時期。やれることを徹底的にやるしかないですね。もっとも、現在の状況はかなり改善されてきたと思います。そして何より、今も大変な思いをしている職員たちが感染症に立ち向かうべく、結束を強めてくれていることを嬉しく、頼もしく感じています。

先を見据えると、日本の社会構造は少子高齢化の時代に入ります。通院される患者様は高齢の方も多く、診療後に一人で帰宅できない、帰宅後も不



自由な生活を余儀なくされるというケースが急増していくのではないかと危惧しています。医療と介護がシームレスに機能するサービスは、少子高齢化時代には不可欠です。その意味でも、我々が果たすべき役割は大きい。当院の母体である慈恵会は医療・介護・教育を三本の柱とした、総合ヘルスケアネットワークを構築する事業体。つまり、シームレスな医療・介護のサービスが提供できるのです。医療・介護・教育がお互いに連携を強め、それぞれの質を高めていく。今後ますます必要とされる総合ヘルスケアネットワークを駆使し、より一層、地域に貢献していきたいと考えています。

コチラも  
チェック▶



## 新須磨病院

詳しくは  
コチラを  
チェック▶



〒654-0048 神戸市須磨区衣掛町3丁目1番14号  
TEL:078-735-0001(大代表) FAX:078-735-5685  
診療受付時間/月曜日～土曜日 8:15～11:00

## 最新機器と思いやりの医療で 信頼される病院を目指します

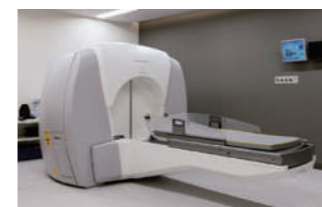
当院では、積極的に最先端の医療機器を数多く導入しています。医療機器の進歩は、検査や治療を速く、正確にし、確実に患者様の苦痛を軽減しています。

診療科目

内科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科・婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・神経内科・心療内科・  
歯科・歯科口腔外科・循環器内科・心臓血管外科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

## 医療機器のご紹介

### ガンマナイフ



ガンマナイフは、放射線療法の一つで、ガンマ線を用い、脳の病巣を取り除きます

### 血管撮影装置



高鮮鋭度・低被爆を実現した、二方向フラットパネル血管撮影装置

### MRI



検査音の静かな高磁場・高画質 3.0T MRI装置 (2台)

### CT



検査時間の大幅短縮・被爆の低減を実現した64列マルチスライスCT装置

### QDR Discovery



正確な骨量の測定可能な、X線骨密度測定装置

### 高気圧酸素治療装置



高濃度の酸素を吸入することで組織の低酸素状態の改善を図るための医療装置。

### ハイパーサーミア(がん温熱療法装置)



局所的に高周波で40分程度加温して治療するサーモロン RF8

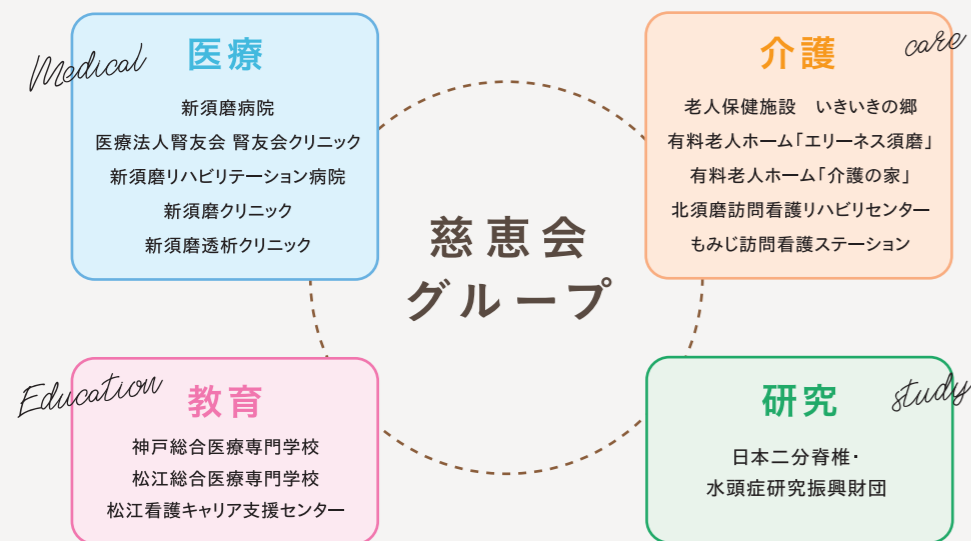
### 光干渉断層計(OCT)



光の干渉現象を用いて、主に網膜の構造を検査する装置

# 新須磨病院 61年のあゆみ

# 2002



## 1960

医療法人  
慈恵会設立



## 1973

医療法人腎友会  
腎友会病院設立

## 1975

神戸医療技術専門学校に改称  
(旧名称 神戸放射線技術専門学校)

## 1974

神戸放射線技術専門学校  
開設

## 1988

有料老人ホーム  
エリーネス須磨開設

阪神・淡路  
大震災

## 1995

神戸総合医療  
介護福祉  
専門学校に改称  
(旧名称  
神戸医療  
技術専門学校)

## 1993

財団法人  
日本二分脊椎・  
水頭症研究  
振興財団設立

## 1998

学校法人澤田学園  
松江医療福祉  
専門学校開設

## 1999

介護老人  
保健施設  
いきいきの郷  
開設

## 1997

- ・特定医療法人  
慈恵会として認可
- ・医療法人社団  
慈恵会に名称変更
- ・もみじ訪問  
看護ステーション  
開設

北須磨訪問看護  
リハビリセンター開設



## 2004

有料老人ホーム  
介護の家開設

## 2001

医療法人腎友会  
腎友会クリニック  
に改称  
(旧名称  
腎友会病院)

## 2011

財団法人日本二分脊椎・  
水頭症研究振興財団が  
公益財団法人に移行

## 2008

- ・松江総合医療専門学校に改称  
(旧名称 松江医療福祉専門学校)
- ・新須磨クリニック開設

## 2007

新須磨リハビリテーション病院開設



## 2006

- ・神戸総合医療専門学校に改称  
(旧名称 神戸総合医療介護福祉専門学校)

## 2017

学校法人澤田学園  
松江看護キャリア  
支援センター開設



## 2015

- ・新須磨病院新築移転
- ・新須磨透析クリニック開設





理事長・院長

**澤田 勝寛**

担当: 消化器、乳腺、シャント



副院長・外科部長

**辻 義彦**

担当: 消化器外科、血管外科



外科部長

**北野 育郎**

担当: 血管外科



外科医長

**保島 匡和**

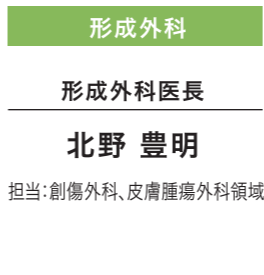
担当: 消化器外科



学術顧問

**芳野 原**

担当: 糖尿病・難治性高脂血症



形成外科医長

**北野 豊明**

担当: 創傷外科、皮膚腫瘍外科領域



形成外科医師

**土屋 旬平**

担当: 外傷、救命救急



麻酔科部長

**中馬 理一郎**

担当: 麻酔



麻酔科医長

**夜久 英明**

担当: 麻酔



泌尿器科部長

**原田 益善**

担当: 泌尿器科内視鏡治療



副院長・内科部長

**椎名 佳子**

担当: 消化器病、一般内科



内科医長

**川上 恭子**

担当: 糖尿病、一般内科



内科医長

**古林 啓介**

担当: リウマチ



内科医師

**馬 艶**

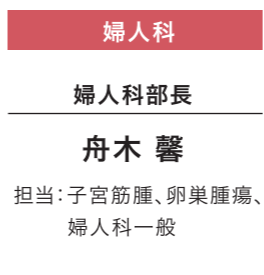
担当: 感染症、一般内科



内科医師

**郡山 健治**

担当: リウマチ・膠原病内科



婦人科部長

**舟木 馨**

担当: 子宮筋腫、卵巣腫瘍、婦人科一般



婦人科医長

**佐々木 紘子**

担当: 子宮筋腫、卵巣腫瘍、婦人科一般



婦人科医長

**谷 杏奈**

担当: 婦人科一般



歯科口腔外科医長

**小林 正樹**

担当: 歯科口腔外科一般、骨造成術、埋伏歯抜歯



歯科口腔外科医長

**黒木 信祐**

担当: 歯科口腔外科一般、埋伏歯抜歯、歯根端切除



副院長・脳神経外科部長

**近藤 威**

担当: 脳腫瘍、機能的脳神経外科



脳神経外科部長

**高石 吉將**

担当: 脊椎、脳血管障害、外傷、脳腫瘍



脳神経外科医長

**田中 宏知**

担当: 脳腫瘍・脊椎



脳神経外科医長

**溝脇 卓**

担当: 脳血管障害



脳神経外科医師

**梶本 裕人**

担当: 脳神経外科一般



歯科口腔外科医師

**赤塚 希望**

担当: 歯科口腔外科一般



耳鼻咽喉科部長

**牧野 邦彦**

担当: 外リンパ瘻手術



耳鼻咽喉科医長

**李佳奈**

担当: 耳科・鼻科手術



耳鼻咽喉科医長

**越智 尚樹**

担当: 鼻科学



眼科部長

**山本 美保**

担当: 眼科一般、内障手術



副院長・整形外科部長

**柴原 克紀**

担当: 人工関節・外傷



整形外科部長

**黒田 司**

担当: 一般整形



整形外科医長

**筒井 美緒**

担当: 手外科、整形外科一般



整形外科医長

**中西 雄太**

担当: スポーツ整形



整形外科医師

**田中 秀弥**

担当: 一般整形



放射線科部長

**松本 真一**

担当: 画像診断



臨床検査担当医師

**福西 秀信**

担当: 臨床検査

01

## 新須磨リハビリテーション病院

ひとりの患者様に対して  
各専門家がチームを組んで対応。

ひとりの患者様に関わる全ての専門家(医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーなど)が定期的集まり、その患者様のリハビリ目標を目指して治療の方針を決めます。



▲コチラもチェック



**外来診療科目** 内科・整形外科・リハビリテーション科  
**受付時間** 月曜日～土曜日 9:00～12:00

**3F** 多目的室 言語聴覚室 図書室 地域連携室 屋上広場  
**2F** 病室(44床) スタッフステーション 浴室 デイルーム(食堂)  
**1F** 外来診察室 受付 薬局 リハビリ室 CT室・レントゲン室 病床(12床) ナースステーション デイルーム(食堂)  
**B1F** スタッフルーム 厨房 (敷地内全面禁煙です。)

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7-1-31  
TEL:078-795-9123 FAX:078-795-3343

03

## もみじ訪問看護ステーション

皆様の思いに寄り添いあらゆる支援に対応

病状や療養生活を専門家の目で見守り、的確なアセスメントに基づいたケアとアドバイスで、自立した生活が送れるよう支援します。

**営業日** 月曜日～土曜日 (日・祝日、年末年始12/30～1/3日は休み)  
**営業時間** 9:00～17:00 ※24時間連絡対応体制あり  
**訪問エリア** 須磨区・垂水区(一部)・長田区(一部)  
**ご利用料金** 各種保険を取り扱っています。(医療保険・介護保険) 自費サービスその他傷病名などにより公費負担があります。

〒654-0047 神戸市須磨区磯馴町4丁目1-6  
TEL:078-732-3715 FAX:078-732-5890



▲コチラもチェック



02

## 介護老人保健施設 いきいきの郷

豊かに過ごすためのリハビリ&介護施設

**入所** 入所定員 80名 通所定員 35名

要介護度1～5と認定された方が対象になります。終身介護ではありません。再び家で生活するために必要なことを多種多様に取り組んでいます。

**短期入所療養介護(ショートステイ)**  
**介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)**

ご家族の冠婚葬祭、介護疲れ、旅行など一時的に家族での介護ができなくなった場合に、要介護度(要支援・要介護1～5)に応じて利用できます。

**デイケア**

身体機能の回復と維持のために、週に2回程度通所が可能で、リハビリテーションに積極的な方(要支援・要介護1～5)を対象としています。月曜日から土曜日まで毎日行っています。

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7丁目1-25  
TEL:078-795-8080 FAX:078-795-8088



▲コチラもチェック



04

## 北須磨訪問看護リハビリセンター

患者様とご家族が望む最善の暮らしを支える

**職員構成** 看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・臨床工学技士・ケアマネージャー  
**営業時間** 平日8:30～17:00 (土・日・祝日は緊急または必要に応じて訪問) ※24時間相談、連絡体制あり

**訪問看護**

看護師がご自宅へ訪問し生活支援や介護、医師の指示による医療処置などを行います。

**訪問リハビリ**

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が看護師とペアを組み、ご自宅でのリハビリ実施やご提案をいたします。

**居宅介護支援**

ケアマネージャー(介護支援専門員)が、ご自宅での介護が必要になった方のご相談やサービスの選択・手続きのお手伝いを行います。

〒654-0133 神戸市須磨区多井畑地獄谷12-2 CNCビル203  
TEL:078-741-4001 FAX:078-741-4002



▲コチラもチェック



## 看護部及び地域医療相談センター

詳しくは  
コチラを  
チェック▶



### 看護部



「新須磨病院に来てよかった」と思っていただけの看護を  
～回復を支え、確かであたたかな看護と一緒に歩きます～

病気や怪我は患者様・ご家族に不安を与え、日常生活を一変させます。私たちはお身体の苦痛だけでなく、お気持ちや暮らしの不安とともに真摯に丁寧に向き合い、お一人おひとりにあった看護を心がけています。「新須磨を選んでよかった」「また見てもらいたい」「ええ出会いだった」と思っていただけのケアを目指し、さまざまなスタッフと心をあわせ努めます。病気があってもお元気で幸せと感じられる明日を一緒に見つけられたら…私たちが幸せです。

### 地域医療相談センター

詳しくは  
コチラを  
チェック▶



患者様やご家族のさまざまな困りごとを  
解決に導く、地域と病院の懸け橋

思いがけないケガや病気により、これからの生活や、経済的なことなどさまざまな不安が生じます。当センターでは、お話を伺い、相談の内容によって、精度の説明や施設のご紹介など、適切な提案を行い、解決に向けて一緒に考えてまいります。また地域の関係機関と連携を取り、当院から退院される患者様に、安心してこの地域で生活して頂けるよう退院支援を行っております。一人で悩まずお気軽にご相談ください。

### 地域医療相談センター



## 診療科紹介

詳しくは  
コチラを  
チェック▶



治療技術だけでなく、  
患者様にとって常に最適な選択を

脳神経外科 近藤 威

脳外科の疾患では脳卒中や脳腫瘍が多く、外科的手術や血管内治療、早期リハビリを積極的に行っています。おかげさまで治療技術に関して評価をいただいておりますが、最も大切なことは『治療方法選択の厳正さ』です。患者様にとって最適な治療方法を厳正に判断し、治療を行っています。

骨、関節、筋肉、神経など  
あらゆる疾患に対応いたします

整形外科 柴原 克紀

整形外科が扱う分野は非常に広く、全身の骨、関節、筋肉、神経などにかかわる疾患などが対象になります。膝痛、腰痛などの一般整形外科だけではなく、手の外科やスポーツでの靭帯損傷などの非常に専門性の高いものに対しても対応できる体制をとっています。お困りのことがあれば何なりとご相談ください。



幅広い外科疾患に対応し、  
併せて専門性向上もめざしています

外科 辻 義彦

外科、消化器外科、心臓血管外科等の専門医・指導医が在籍しており、近隣の皆様に全国レベルの外科医療を安心して受けていただける診療体制を整えています。とりわけ重症虚血肢をはじめとする末梢血管外科疾患に対しては、関西有数の専門医療が提供できると自負しています。また専門分野のみならず、一般外科疾患や外科救急疾患に対してもできる限り対応するように努力しています。



ベテラン専門医と連携力で  
患者様に安心を与える

内科 椎名 佳子

内科では一般内科や生活習慣病、リウマチ科、膠原病科、消化器内科、肝臓疾患などの治療や、腎臓病に関しても透析導入などを行っております。当院ではそれぞれに専門医がいるだけでなく、内科内や他科、グループとの連携も盤石ですので、患者様に幅広く安心して診療を受けていただけます。

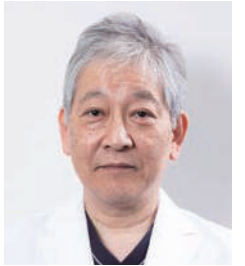


## 緩和ケアについて

その人らしい『生』を全うできるよう援助します

生命を脅かす疾患に侵されている患者様やご家族は、痛みをはじめとする種々の身体的苦痛や心理的問題、社会的問題などに直面されています。苦痛をできるだけ取り除いて、その人らしい『生』を全うできるよう、またご家族の不安やつらい気持ちを少しでも軽減できるよう、緩和ケアチームを中心に院内全体で支援に取り組んでいます。

外科医  
辻 義彦



## 高齢者の継続ケアについて

地域密着の治療で、患者様やご家族の負担を軽減します

高齢者の方々は年齢を重ねるにつれ、複数の疾患や障害を抱える可能性があります。症状によっては複数の病院やリハビリ施設などでケアを受ける必要があり、そうすると複数の施設への行き来が必要になります。また、体の状態によっては今までのライフスタイルを変更せざるを得ない場合も。当院では患者様やご家族の思いを第一に考え、連携を取りながら治療することが継続ケアに繋がると考えています。そのため患者様の負担を少しでも減らすため、皆様のライフスタイルを尊重した治療を行っております。また当院はグループであるリハビリ施設や介護施設などが付近にあるため、症状の進行に合わせて迅速な連携が可能であり、移動の負担を減らすこともできます。

内科医  
椎名 佳子



## 脳神経外科医が行う脊椎治療とは

患者様の思いを汲み、ライフスタイルを守るための治療

脊椎疾患の主な症状には、骨や椎間板そのものの痛みと神経の圧迫による痛みやしびれ、麻痺などの神経症状などさまざまなものがあります。脳神経外科が行う脊椎治療はというと、脊髄そのものに触れる治療を行います。当院の脳神経外科では、基本的に神経症状があり、お困りの患者様にだけ手術を提案します。例えば神経への圧迫が原因であれば、圧迫を取り除くための手術を行います。ちなみに当院で多いのが「ゴルフがしたいので何とかしてほしい」という患者様。極力ピンポイントで患部だけを狙い、大きな治療にならないように注意して手術を行います。やはり患者様が最終的に何をしたいか、ライフスタイルを守るための治療が大事になりますね。

脳神経外科医  
高石 吉将

